

「発達障害」の相談はこちら

発達障害って何？

発達障害のある人には、集中することが苦手、集団行動が苦手、友達関係を上手に築くことができない、読み書きや計算が困難、できることとできないことの差がありすぎるなどの特徴があります。

問い合わせ

相談支援事業所 地域支援センターまいらいふ ☎24-6556

その他の相談窓口

乳幼児期の発達面での相談 保健センター ☎22-7157

18歳未満の子どものあらゆる相談 家庭児童相談室 ☎22-3544

どうしたらいいの？

生活するうえで苦手なことに対する工夫や支援を支援者が一緒に考えます。気になることがあれば、相談支援事業所へお気軽にご相談ください。子どもから大人まで対象としています。

8月23日～29日は『全国一斉「こどもの人権相談」強化週間 ～あなたの笑顔 守りたい～』です

広島法務局及び広島県人権擁護委員連合会では、いじめや児童虐待、インターネットによるプライバシー侵害などの被害に遭っている子供たちが発する信号をいち早くキャッチし、問題の解決を支援するため、専用電話（こどもの人権110番）及びSNS（LINE）による人権相談（平日8時30分から17時15分）を実施しています。

8月23日から29日の強化週間において、相談活動の強化を目的とし、受付時間を延長して電話相談及びSNS（LINE）相談を受け付けます。

実施期間 8月23日（水）～29日（火）

相談受付時間 8時30分～19時

（ただし、土曜日・日曜日は10時から17時まで）

こどもの人権110番 ☎0120-007-110

SNS（LINE）による人権相談

アカウント名：「SNS人権相談」

検索ID：@snsjinkensoudan



【連載】北前船日本遺産～構成文化財の紹介④～



JAPAN HERITAGE
日本遺産

竹原市重要文化財の「紙本著色竹原絵屏風」は1800年頃の竹原を描いたもので、江戸時代後期の竹原の姿を知ることができる貴重な文化財です。

絵屏風は、向かって左側を北とする構図で、左半分を中心に現在とほとんど変わらない町並みが描かれています。左奥に位置する寺山には、照蓮寺、西方寺、長生寺といった寺院が並び、ふもとに広がる町の中央には本町通りが、その北端に胡堂が描かれています。

町並みの手前を流れる本川の港には中型・小型の船が停泊しており、その近くにこれから船に積み込むと思われる荷物も描かれています。一方、右端の横島近くには大型船の影が見えます。本川に入ってくるできない大型船は、横島に繋いで中型・小型の船を待っていたのです。竹原に寄港した北前船等の船が、どのように荷物を積み下ろしをしていたのか、この絵屏風から知ることができます。

ところで、右下手側は霞がかかったように描かれていますが、当時はこの辺りに塩田が広がっていました。ここで生産された塩が北前船等によって全国に運ばれていたのです。

9月4日（月）まで、旧光本家住宅において「紙本著色竹原絵屏風」（複製）を展示しています。絵屏風に描かれた風景を思い浮かべながら、竹原の町をめぐってみると、今まで気付かなかった発見があるかもしれません。

問い合わせ

文化生涯学習課文化財保護係

☎22-2328

